

【課題番号】 5-1751

【研究課題名】

微小(PM2.5)及び粗大粒子状物質が脳卒中発症や死亡に及ぼす短期曝露影響に関する研究

研究の全体概要

福岡の FSR、全国の死亡、救急搬送データと、PM2.5 や粗大粒子の質量濃度及び化学組成データを用いて、PM2.5 が脳卒中、死亡、救急搬送に及ぼす短期曝露影響について疫学研究を推進する。

1) 全国の PM2.5 が及ぼす死亡・病院外心停止への影響

既存の国内の死亡データおよび病院外心停止データを収集するとともに、2012 年以降の日本国内での等価性評価において認証を受けた自動測定装置の PM2.5 質量濃度データを収集する。さらに、東京、大阪、福岡における PM2.5 及び粗大粒子の化学組成測定データを収集し、死亡や病院外心停止に与える短期曝露影響や地域差の有無について検証する。

2) 福岡における微小(PM2.5)及び粗大粒子状物質に及ぼす脳卒中への短期曝露影響

福岡県内の既存の FSR データを整備するとともに患者登録を継続し FSR データを蓄積する。同時に、福岡における PM2.5 や粗大粒子の質量濃度および化学組成について、2012 年以降の既存の観測データを収集するとともに、観測を継続しデータの蓄積を図る。脳卒中の発症、入院などのデータを PM2.5 や粗大粒子の曝露データと結合し、脳卒中に対する短期曝露影響を統計的に評価する。さらに、患者の属性などを用いて高感受性集団について特定する。

3) PM2.5 の質量濃度・化学組成が救急搬送や外来受診に及ぼす影響

国内の救急搬送や診療報酬明細書(レセプト)データを収集し、上記1)で収集した PM2.5 質量濃度や化学組成データに加え、環境省が全国の自治体と協力し各季節それぞれ2週間かけて収集した化学組成データも用いて、日本国内における PM2.5 が救急搬送やレセプトデータからわかる疾病への影響を検討し、併せて、地域差の有無について検証する。

研究の全体概要図

【研究課題番号】5-1751

【研究課題名】微小(PM2.5)及び粗大粒子状物質が脳卒中発症や死亡に及ぼす短期曝露影響に関する研究

【研究代表機関名】国立研究開発法人国立環境研究所

